

平成28年度授業評価集計結果

I. 授業評価集計について

科目的平均値(平均値データ)を集計する方法で実施した

II. 集計結果

1. 授業評価実施状況

実施科目数: 86科目 (全86科目: 臨床実習を除く)

実施率 : 100%

回収率 : 95.5% (1年生: 94.5% 2年生: 94.1% 3年生: 97.8%)

2. 学生による「授業評価」結果

1) 学生の受講姿勢に関する自己評価(平均値データ) (表1)

学生の受講姿勢で自己評価が高かったのは、「問3 あなたは授業のマナーを守って受講しましたか」(3.88±0.37)であった。

評価が低かったのは、「問1 あなたは予習をして授業に臨みましたか」(3.00±0.37)であった。

2) 学生の授業に対する評価(平均値データ) (表2)

総合的な評価の問19を除いた13項目中上位2項目は、「問10 教員は準備を十分にし、熱意をもって授業を進めた」(3.90±0.42)、

「問13 授業の要点や議論が明確であった」(3.84±0.42)であった。下位2項目は、「問14 学生便覧のシラバス(授業内容)は参考になった」(3.56±0.26)であった。

3) 各学年間における比較(平均値データ) (表3)

全項目(問1~19)の平均値を比較すると、3年生が高い値(3.68±0.42)を示した。一方で1年生が、低い値(3.53±0.43)を示した。

学年間で項目間比較を行うと、「問10 教員は準備を十分にし熱意をもって授業を進めた」(3.90±0.42)の項目が、高い値を示す傾向にあった。

4) 過去との比較(平均値データ) (表4)

過去2年間(H26・H27年度)と比較すると、学生の受講姿勢に関する5項目(問1~5)の改善が認められる。

また、「問11 授業内容は学習するに見合った量であった」(3.83±0.41)、「問13 授業の要点や議論が明確であった」(3.84±0.42)、「問14 学生便覧のシラバス(授業内容)は参考になった」(3.56±0.26)、「問15 授業内容を理解できた」(3.77±0.44)の4項目の改善が認められる。

III. 全体的な考察

1. 単純平均値

各質問グループの単純平均値を全体と学年ごとにみると以下の通りとなる。

質問グループの単純平均値範囲

質問 グループ	質問 番号	単純平均値							
		全体		1年生		2年生		3年生	
		H28	H27	H28	H27	H28	H27	H28	H27
1: 学生の受講姿勢に関する質問	①～⑤	3.00～3.88	2.5～3.7	2.92～3.88	2.5～3.8	3.00～3.97	2.8～3.5	3.08～3.78	2.1～3.8
2: 授業に関する質問	⑥～⑯	3.56～3.90	3.4～3.9	3.61～3.78	3.4～3.9	3.48～3.82	3.4～3.6	3.59～4.03	3.3～4.2
3: 総合評価	⑯	3.85	3.90	3.78	3.90	3.80	3.60	3.96	4.10

1) 全体の単純平均値

全体(全学科、全学年、全科目)の単純平均値は、2つの質問グループ①～⑯の質問が、3.00～3.90(前年度 2.50～3.70)で前年度よりも改善が認められる。しかし、総合評価⑯の平均値は、3.85(前年度 3.90)でやや前年度を下回った。

2) 学年別の単純平均値

1年生は、2つの質問グループ①～⑯において、2.92～3.88(前年度 2.5～3.9)で、前年度と同水準であった。また、総合評価⑯の平均値は、3.78(前年度 3.9)で、前年度をやや下回った。

2年生は、2つの質問グループ①～⑯において、3.00～3.97(前年度 2.8～3.6)で、前年度を上回った。また、総合評価⑯の平均値は、3.80(前年度 3.60)で、前年度よりも0.20高い値を示した。

3年生は、2つの質問グループ①～⑯において、3.08～4.03(前年度 2.1～4.2)で、前年度と同水準であった。また、総合評価⑯の平均値は、3.96(前年度 4.10)で、前年度よりも0.14低い値を示した。

3) まとめ

全体と各学年の評価まとめ

	質問①～⑯評価		質問⑯総合評価	
	H28	H27	H28	H27
	単純平均値	単純平均値	単純平均値	単純平均値
全体(全学科、全学年、全科目)	3.00～3.90	2.5～3.9	3.85	3.9
1年生	2.92～3.88	2.5～3.9	3.78	3.9
2年生	3.00～3.97	2.8～3.6	3.80	3.6
3年生	3.08～4.03	2.1～4.2	3.96	4.1

1. 全体(全学科、全学年、全科目)では、各質問の平均点が3.00～3.90、総合評価が3.85であった。(1年生：平均点2.92～3.88、総合評価3.78、2年生：平均点が3.00～3.97、総合評価3.80、3年生：平均点3.08～4.03、総合評価3.96)。

2. 全学年平均点の低かった項目が高くなった。1年生は、ほぼ昨年度と同水準を示した。2年生は、総合評価が3.80と、昨年度よりも改善が認められた。3年生は、総合評価が3.96と昨年度よりも下降した。

3. 学生による授業評価を開始してから6年間を振り返り、各項目平均点が高水準を示すようになった。

【今後の目標】

1. 全学年の総合評価点を4.0以上に引き上げることである。特に、1年生の評価点の向上が求められるところである。

【対策】

1年次の主たる到達目標は、専門基礎力を身に付けるところにある。毎年、学習方法に思い悩む時期もある。本学院では、従来より補習や個別指導体制を整えており、個々の学生の理解度に応じた学習指導を継続して行い、理解度を向上させていく。そのため、本評価で得られる学生の意見・要望を活用し、さらなる教員の資質向上をはかるため、定期的に教員研修会を開催する。

